

豊田市汚水処理施設に実質再生可能エネルギー100%の電力供給を開始

豊田市から汚水処理施設包括的民間委託業務を受託しているホームックス・エステム共同企業体（代表企業ホームックス株式会社 豊田市松ヶ枝町 代表取締役社長：餅原幹也）は、4月より、管理する汚水処理施設のうち、約260箇所に点在するマンホールポンプ場の使用電力を実質再生可能エネルギー100%電力に切り替えた運転管理を開始しました。豊田市の汚水処理施設の実質再生可能エネルギーを使用するのは、初めてのこととなります。

豊田市は「2050年におけるCO₂排出量実質ゼロ」を目指すことを宣言しており、ホームックス株式会社は、業務遂行する中で、省エネの取り組みは必要不可欠と、様々な省エネ技術を模索してきました。その中で、使用する電力そのものを見直して、脱炭素社会に貢献できる取り組みとして、今回の再生エネ導入に至りました。

今回の取り組みの効果は、年間電力使用量のうち931,842kWhから生じる二酸化炭素が0となり、約395tの削減が想定されます。これは、一般家庭259軒から生じる二酸化炭素に相当します。そしてSDGsの7番目の目標「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」貢献に繋がります。今後も脱炭素社会の実現を目指し様々な施策を推進してまいります。

電力供給会社は、当企業体が包括的管理する施設の諸条件に対応できるシナネン株式会社（東京都港区 代表取締役社長：安田貴志）で、同社と契約を締結し、実質再生可能エネルギー100%の電力を使用する運びとなりました。

本件に関する問い合わせ先は
ホームックス株式会社 アクア業務部 杉野
T E L 0565-33-2468
F A X 0565-33-2472